

西條八十の『白孔雀』
——デ・ラ・メアの詩の世界——

時間 2021年11月6日13時

場所 妖精ミュージアム

講師 井村君江（妖精ミュージアム名誉館長）

- (1) 西條八十(1892—1970) 詩人、作詞家、小説家。東京生。西条八束、三井ふたばこ、「金糸雀」(童謡)「象牙の船に銀の櫂、月夜の海に浮かべれば忘れた歌を思い出す」作詞家——「青い山脈」「東京行進曲」「蘇州夜曲」「予科練の歌」「王将」「トンコ節」早稲田大学教師 吉江橋松に指導者フランス文学(ランボー)。日夏耿之介、「聖杯」大衆の愛する作詞家(西條)——月夜の道士、詩人は道を求める人。(日夏耿之介)西條は『砂金』(1919)、『白孔雀』(訳詩集 1920)——日夏は『黒衣聖母』『海表集』、『白孔雀』(翻訳集)大正9年ウオルター・デ・ラ・メア「マアサ」、「豚と炭焼き」。
- (2) ウオルター・デ・ラ・メア(Walter de la Mar(1873-1956)イギリスの詩人、小説家。ケント生まれ、詩人、小説家、(幻想・探偵・怪奇)、子供の心を持つ大人向け。詩『ダン・アダン・デリー』1922、(5番)妖精たち、魔術・魔法の世界、夢の世界『ピーコック・パイ』(1913)、『楽しいイギリスの国』(1952)22冊小説——『ヤン坊、ニン坊、トン坊』(飯沢匡 Three Mulgar Malgar、1915)ティッシュナ、『死からの蘇えり』(The Return)1910、『ヘンリー・ブロッケン』1904、『小人の記憶』1921等16冊、劇『クロッシングス』1921。
- (3) 日本人好み——西條八十、三好達治、佐藤春夫、堀口大學、江戸川乱歩愛読。西條八十雑誌「無限」西條八十の訳詞——『白孔雀』1920、「マアサ」童話の世界、鈴木三重吉「赤い鳥」童謡に対し母謡、子供の心を失わない大人。イエイツ、デ・ラ・メア江川乱歩の座右銘——「うつし世は夢、夜の夢こそまことなれ」(恋文)神田北沢書店——すずらん通り天婦羅屋、; 息子はフェイバー&フェイバー社長、孫は本屋(北沢書店)。
- (4) デ・ラ・メアの夢幻界
耳を傾ける人(Listener)、夢を見る人(Dreamer)、彷徨う人(Traveller)見知らぬ人(Stranger)、我々の傍にいる、見えない、夢幻の不思議な響き(夕暮れ、月、星、水、海、緑、)音楽、夢・雪を見る、現実と違う世界(絵画や芸術の世界)魔法
*「ダン・アダン・デリー」(わらべ歌、調子言葉)妖精の呪文、歌の調子。
アニー・マルーンの歌、水車小屋から妖精に海へさらわれ、父親は一人になる。
*妖精——デ・ラ・メが描くもの。(魔法を使う、人間をさらう——チェンジリング)
フェアリー、エルフ、ドワーフ、; 炉端のロブ(ロブリバイザファイアー)、サラマンダー; 新しい妖精「ミルメロ」(森に住む、踊り上手、歌好き。はちみつ、花好き、美しさ。理想の国、(テルナノグ)、天国、極楽、竜宮、桃源郷、フェアリーランド。